

コロナ禍緊急事態宣言下 各種の活動延期・自粛へ！

緊急事態宣言下、地域活動への自粛要請が出された。これに伴い、移動が伴う各種行事が中止又は無期延期状態が続いている。この環境下、防災の日に応じたマスコミからの出演・取材を受けて、防災士の活動がなされたので、その一部を次のとおり掲載して報告する。任に当たられた防災士にお礼を申し上げたい。

NHK水戸放送局「金曜は！いばっチャオ」に

9月10日（金）11時30分からの同放送番組に、松井防災士が出演。キャスターとの一対一の対話形式で「分散避難」＝「在宅避難」、「車での避難」の注意点を説明。なお、本収録は6日（月）に行われた。前回同様、茨城版につき、県南エリア（東京スカイツリーアンテナ利用）は残念ながら受信できなかった。（右上は、テレビ画面より：一部合成）



茨城新聞社取材対応

「防災の日特集」に伴う茨城新聞社取材に、県西エリア矢野防災士（古河市在住）が対応。

「自助意識で災害リスクを軽減」をテーマに「コロナ禍の分散避難」として、避難・備蓄等について詳細に解説がなされた。（9月1日号掲載、下記事参照）

茨城放送ラジオ番組 CONNECT ほっとボイス

9月1日（水）17時15分から10分程度にて「防災グッズについて」をテーマにしたラジオ番組に県南エリア永倉防災士が対応。ラジオパーソナリティからの質問に答える方式で電話での生番組であった。質問内容は、①いざという時役立つ防災グッズについて②家族構成によって変わるか、③グッズの点検日は、④100円均一で防災グッズを作るには、⑤自分で用意するときの注意は、等々であった。

いばらき防災ハンドブック2021



茨城新聞、茨城放送が県内小・中・関係機関へ配付。当防災士会各エリア長宛に届けられた。既に配付されたエリアの報告を受けているが、年度末に配付状況（何処に・反響は）等についてアンケートしたく、お含み置き願いたい。

コロナ禍の分散避難

大規模災害に遭った際の備えは万全ですか。被害を少しでも少なくするために、自分の身は自分で守るという「自助」意識について、防災士で災害備蓄士松井の矢野靖彦さん（古河市在住）に聞いた。災害備蓄士は家庭や事業所などで適正な備蓄をアドバイスする資格。矢野さんは「二人一人が災害に向かい合い、他人任せにしない自助の考え方を持つことが、シミュレーション」。

●避難のタイミング

警戒レベル	状況・住民の行動	避難情報	防災気象情報
5	既に災害発生が発生直前命の危険、直ちに安全確保	緊急安全確保（市町村が発令）	災害発生情報大雨特別警報など

高

自助意識で

NHK水戸放送局「いば6」取材に

台風シーズンを前に、台風の注意喚起を行う動画作成インタビューに、矢野防災士が応対された。収録は、9月9日に行われ、9月22日（水）、24日（金）の「NHKいば6」にて放映された。



台風時の窓ガラスの応対策や瞬時に求められ、処置等について解説がなされた。（左、2021年9月24日、いば6画面引用）

対外活動(各地の講演会等含む)記録

● 笠間小学校フレンズルームにて

イベント名：笠間小学校HUG研修

実施日：令和3年7月28日（水）、30日（金）

実施団体：笠間市立笠間小学校

概要：児童155名を7人構成で11班でのHUG研修

・いばらき防災ハンドブック（1P紹介）を全員に配布し、地震・水害等の対策を説明。

・カード読みは先生に依頼。児童の進捗確認しながらの間合いでの調整。



【実施協力防災士】

加瀬孝雄、小川欽也、市野沢伊司、渡辺平、澤田孝一、岡野博、高矢芳幸、船橋淳宏、大高仁護、本田佳行、染谷吉明

オンライン（ZOOM）の活用多岐に

● 特定非営利法人日本防災士会女性防災推進会議

第2回オンラインシンポジウム報告

繋がろう女性防災士～ハラスメントやバイアスはなくせる？女性の声を届けたい～

をテーマとして、8月28日（土）午後からオンラインシンポジウムが開催された。（日本防災士会広報より）

テーマ別グループセッションより抜粋

・「女性の視点を地区防災計画に反映させるには」

①物の備えをすると同時にマニュアルや情報で備えることも大切

②支援を受ける側と支援する側をつなぐ地道な活動が大切

③避難と避難所に関する概念を平常時からしっかりと考えておく

・「女性が参加しやすい仕組みづくり」

④性別・年齢、様々なギャップを乗り越える必要がある

⑤自分から声をあげて、自分から無意識のバイアスをなくしていく

・「被災地支援を円滑に進められるために必要なこと」

⑥信頼できる人・情報が大切、日常から人間関係を含む備えを万全にすることで災害時にも円滑な支援につながる

・「男性防災士が女性防災士に期待すること」

⑦避難所や災害時の生活面でも女性防災士の活躍を期待、女性の意志を示して欲しい（男性は女性が発言・発信してくれないことに戸惑いがある）

今後の研修会・講演会

開催予定日	主催団体	内 容
11月20日 12月11日	防災士会 視察・研修	東海第二発電所視察 発電所安全対策工事視察等
10月3日 10月24日	茨城県 いばらき防 災大学	気象庁ワークショップ 講義（防災士の役割）
2022年 2月	稲敷市 教育委員会	避難所運営ゲーム（HUG） 訓練

コロナ禍で制約ありますが、各種講演会傍聴等希望の方は、講演当該エリア長に照会ください。

● 県南エリア会議報告（ZOOM併用）

9月11日（土）午後1時から3時45分の予定で、取手会場を拠点として、ZOOMと組合せたの会議を開催し、取手会場10名、ZOOM参加6名を得ての会議を実施。なお、ZOOM活用は2回目となっている。



- ・県南エリア特有の課題への協議
- ・個別話題提供を受けた研修会
- ・ZOOM会議の効用
- ・会議の円滑化に向けた機材を準備



備すべきの提案がなされ、諸費用の算出・提示後、理事会へ提案の運び。参加者の同意を得たことで、今後に向け進めたい。



当日の参加者は、茨城県女性9名含め217名で当防災士会もエリア会議の実証を踏まえオンライン手法を取り入れた「会議・研修会」を行うことで多くの会員の参加が可能になるのでは、と強く感じられた報告である。さすが、ZOOM会議開催を広める学習の機会が必要である。（女性部報告

● 県央エリア会議 (ZOOM活用による会議)

9月12日 (日) 10時10分から、県央エリア初の全員ZOOMによる会議を開催した。

17名の参加を得て、防災士会の組織、今後の研修、視察・研修会等の伝達を行い、認識を一にした。テスト会議の問題点を整理して今後に生かして行きたい。

● 「防災士活動ジャンパー及びキャップ」の有償交付

さて当機構は、かねてより多くの防災士の皆様からの強いご要望がありました「防災士活動ジャンパー・キャップ」を制定しております。

防災士活動ジャンパー・キャップは、「防災士としての自覚をより強固なものに高めると共に、防災士相互の連帯の絆となることを基本に、防災士の活動に対する地域・職場での社会的認識の周知に資するもの」として当機構はその普及に当たっております。つきましては、下記による防災士活動ジャンパー・キャップ交付 (有償) 申込みのご案内を申し上げます。

1、防災士活動ジャンパー・キャップのお申込方法

「防災士活動ジャンパー・キャップ交付申込書」に所定の事項を記入の上、お申込み下さい。

2、郵便局の払込取扱票のお振込み方法

(郵便局の窓口もしくはATMでお振込み下さい。)

1) 郵便局の「払込取扱票 (青色の印刷紙)」に下記を参考に、申込者の住所、氏名、ふりがな、電話番号等所定の事項を漏れなく記入して下さい。

2) 郵便局の窓口もしくはATMで料金をお支払い下さい。

(振込手数料は申込者ご負担)

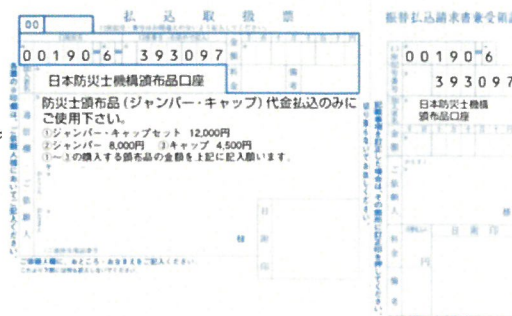
3) 郵便局からは、払込取扱票の右側を切り取った受領証 (入金証) が戻されます。受領証 (ATMの場合「利用明細票」) は「防災士活動ジャンパー・キャップ交付申込書」の所定の欄にコピーして貼り付け、送付して下さい。

※代金お支払い後、防災士活動ジャンパー・キャップ

申込書を必ず送付して下さい。

不明な点は、右記へ照会願います。

豆ニュース		新型コロナウイルスの変異株	
種別	発生場所	名前	検出時期
懸念される変異株 (VOC)	イギリス	α アルファ	2020.9
	南アフリカ	β ベータ	2020.5
	ブラジル	γ ガンマ	2020.11
	インド	δ デルタ	2020.10
注目すべき変異株 (VOI)	複数の国	η イータ	2020.12
	アメリカ	ι イータ	2020.11
	インド	κ カッパ	2020.1
	ペルー	λ ラムダ	2020.12
	コロンビア	μ ミュー	2021.1



日本防災士機構 事務総局

〒102-0082 東京都千代田区一番町25番地 全国町村議員会館5階 ☎ 03-3234-1511 (担当 野美)

FAX 03-3234-1380 Mail: support@bousaisi.jp

FAX、郵送、メールのいずれかにて事務総局宛にお申し込み下さい

エリア通信

県北 会員数 35 名 エリア長 福地 壽之 日立市、常陸太田市、常陸大宮市、北茨城市、高萩市 太子町	県南東 会員数 41 名 エリア長 澤田 孝一 龍ヶ崎市、鹿嶋市、稲敷市、神栖市、潮来市、行方市 銚田市、利根町、河内町
県央 会員数 63 名 エリア長 山根 実 水戸市、ひたちなか市、那珂市、笠間市、小美玉市 茨城町、大洗町、城里町、東海村 ・9月12日 (日)、ZOOMテスト会議開催 (別途掲載)	県南 会員数 52 名 エリア長 田中 寿 つくば市、つくばみらい市、守谷市、取手市 ・9月11日 (土)、エリア会議開催 (別途掲載)
県南央 会員数 52 名 エリア長 松井 秀夫 土浦市、牛久市、かすみがうら市、石岡市 阿見町、美浦村	県西 会員数 53 名 エリア長 矢野 靖彦 結城市、筑西市、桜川市、下妻市、常総市、坂東市 古河市、境町、八千代町、五霞町

NPO法人茨城県防災士会 役員・エリア責任者名簿

	役職名	氏 名	住 所	電話番号（携帯）
役 員	理事長	加瀬 孝雄	水戸市住吉町15-3	029-248-1097 (090-2202-5737)
	副理事長	安東 正好	筑西市市野辺564-11	0296-24-0871 (090-1800-7631)
	副理事長	横田 信子	稲敷郡阿見町荒川本郷2801	029-842-6540 (090-2526-1910)
	専務理事	田中 寿	取手市井野2-3-30-204	0297-73-5855 (090-5195-6963)
	理 事	小川 欽也	日立市森山町1-9-9	0294-53-7620 (090-1737-0010)
	理 事	澤田 孝一	龍ヶ崎市藤ヶ丘4-7-53	0297-75-6054 (080-7006-3917)
	理 事	福地 壽之	常陸太田市高貫町1058-3	0294-74-2007 (090-2679-3444)
	理 事	松井 秀夫	土浦市桜ヶ丘町45-18	(090-5429-9063)
	理 事	永倉 喜代	つくば市豊里の杜1-27-5	029-847-1268 (090-5399-8159)
	監 事	斉藤 理吉	水戸市赤塚1丁目400-4	029-252-0756 (090-2443-7115)
	監 事	若林美智子	つくば市竹園2-3-24	029-856-6333 (080-7025-2841)
	顧 問	福島 末揮	土浦市西根南1-12-44	029-842-1823 (080-5536-6984)

エリア長	県 北	福地 壽之	常陸太田市高貫町1058-3	0294-74-2007 (090-2679-3444)
	県 央	山根 実	ひたちなか市長堀町3-8-22	029-275-2238 (090-5526-9922)
	県南央	松井 秀夫	土浦市桜ヶ丘町45-18	(090-5429-9063)
	県南東	澤田 孝一	龍ヶ崎市藤ヶ丘4-7-53	0297-75-6054 (080-7006-3917)
	県 南	田中 寿	取手市井野2-3-30-204	0297-73-5855 (090-5195-6963)
	県 西	矢野 靖彦	古河市女沼1743-13	0280-92-4228 (090-7187-2434)

専門部：部署・役職名・氏名（2021.8.7 現在）

事 務 局	局長	横田 信子	広報・機関誌部	部長	田中 寿
	次長		副部長（広報・機関誌）		福地 壽之
総 務 部	部長	安東 正好	副部長（ホームページ）		染谷 克明
	副部長	矢野 靖彦	経 理 部	部長	澤田 孝一
企画・研修部	部長	小川 欽也		副部長	飯田 ふじ子
	副部長（企画）	松井 秀夫		副部長	野澤 明弘
	副部長（研修）	岡野 博	女 性 部	部長	永倉 喜代
なお、拡大理事会には理事・エリア長・顧問				副部長	

並びに専門部/副部長が出席の予定です。会員各位のご意見を各責任部署にお寄せください。

防災士会からのお願い

●年会費について

年会費は通常総会の案内時に同封の「振込票」にてお願いしております。振込手数料のご負担についてもご理解とご協力をお願いします。不明な点があれば、当該エリア長に照会ください。

市町村防災ご担当の皆様へ

*8月末日までに年会費未納の方にはエリア長から連絡の予定です。

NPO法人茨城県防災士会は、各種の防災講演会、研修会の講師派遣、DIG（災害図上訓練）、HUG（避難所運営ゲーム）防災マップ作成などの指導を行っております。

講師の依頼等ご相談がありました場合は、下記までご連絡ください。

担当理事：小川 欽也（企画・研修部長）

☎：0294-53-7620 (090-1737-0010)

住所 〒316-0025 日立市森山町1-9-9 E-mail: ogawak012000@yahoo.co.jp

編集/文責：広報機関誌部長 田中 寿